

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	くも膜下出血治療中に合併した非閉塞性腸管虚血の後方視的検討 (B21-148)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部 脳神経外科学 講師 小泉 寛之
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の概要・背景・ 目的	<p>非閉塞性腸管虚血(Non-occlusive mesenteric ischemia: NOMI)は腸間膜血管主幹部に器質的閉塞を伴わないにもかかわらず、分節状、非連続性に腸管血流障害をきたす病態です。NOMI の発症早期には特異的な臨床徴候を認めないことが多く、重症化してから診断されます。そのため、致死率が極めて高く予後不良な疾患です。近年、術後に発生する NOMI としては、特に心血管術後の NOMI の発生報告が散見されているが、脳外科関連の手術後の発生報告はほとんどなく、われわれ脳神経外科医にとっては馴染みが薄い疾患です。我々は破裂脳動脈瘤後によるくも膜下出血(subarachnoid hemorrhage, SAH)後にこの NOMI を発症し死亡した症例を報告しました。さらに、その後も、くも膜下出血の治療中に NOMI を合併する症例を経験することとなりました。しかし、SAH の治療中に合併する NOMI に関してはまとまったデータはなく、発症時期、発症形式、発症頻度などはわかっておらず、また、この NOMI という致死的な合併症の存在を知る脳外科医はまだ少ないのが現状です。</p> <p>北里大学病院救急医療センターで SAH を治療中に NOMI を合併した患者さんを後方視的に検討してその特徴を調べることを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2016年1月1日から2021年10月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内にくも膜下出血で当院に入院され治療を受けた方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2016年1月1日から2021年10月31日までの電子カルテに記載のある診療記録(年齢、性別、 Hunt and Kosnik grade、 Fisher Gr、脳動脈瘤に対する治療法、SAH の発症から NOMI 発症の日数、腹部症状、NOMI によるショックの有無、NOMI に対する治療方法)を利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。本研究の遂行のための費用は脳神経外科医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： <b>所属・職位:</b>北里大学 医学部 脳神経外科学 講師 <b>担当者:</b>小泉 寛之(コイズミ ヒロユキ) <b>電 話:</b> 042-778-8111</p>
備 考	